

## 北海道 根室東部圏域 総合水産基盤整備事業計画

### 1. 圏域の概要

#### (1) 水産業の概要

##### ① 圏域内に位置する市町村および漁業協同組合の概要

- ・当圏域は北海道最東端の根室振興局管内のうち根室市の1市で構成されている。オホーツク海と太平洋に面しており、昔から漁業が盛んな地域である。
- ・根室市内には4漁協所在し、当圏域内では歯舞漁業協同組合、根室漁業協同組合、根室湾中部漁業協同組合を有しており、スケトウダラ等の刺網漁業、コンブを対象とした採介藻漁業、サケの定置網漁業が盛んであり、圏域内にある1港湾及び5漁港を利用して漁業活動を行っており、水揚げ漁獲物の販売事業を中心に健全な経営がなされている。

##### ② 主要漁業種類、主要魚種の生産量、資源量の状況

- ・当圏域の令和元年における漁港における漁獲量は、数量で約14千トン、金額で約64億円となっており、主要漁業種類は刺網漁業、採介藻漁業、定置網漁業が営まれている。
- ・主要魚種の生産量では、マダラ、スケトウダラ等の刺網漁業が約6千トン、サケ等の定置網漁業が約4千トン、コンブ等の採藻漁業が約1.5千トンで全体の約80%を占めている。
- ・資源量の状況は、沿岸魚種であるサケの漁獲量の低迷に対して、ウニにおいては根室市内のウニ種苗生産センターで生産した種苗を圏域地先で放流するなど資源管理手法、栽培漁業手法の導入が進められている。  
また、根室管内栽培漁業推進協議会が設立され、地域特性に合った栽培漁業の広域的な展開に向けて検討している。

##### ③ 水産物の流通・加工の状況

- ・流通については、各漁港で陸揚げ後、歯舞漁港内及び根室港（根室）の地方卸売市場を通じて札幌圏等へ出荷しているほか、国外へ輸出している。
- ・加工については、根室市内の加工場でサケ・イクラ・コンブ等の塩蔵品・干製品等を製造している。

##### ④ 養殖業の状況

- ・当圏域では、ハナサキガニ、ホッカイエビなどの種苗生産・放流事業のほか、ベニザケ、タラバガニの養殖研究を実施しているが、低気圧及び高潮被害などの自然災害に強い安定的な種苗生産体制の構築が課題となっている。

##### ⑤ 漁業経営体、漁業就業者（組合員等）の状況

- ・当圏域の令和元年における漁業組合員数は、正組合員数532名、準組合員数364名となっており、減少傾向にあるが、後継者育成についても力を入れており、今後とも新規着業者の参入も見込まれる。

##### ⑥ 水産業の発展のための取組

- ・人工地盤及び屋根付岸壁下での陸揚げを行うほか、水産加工業においては衛星管理の向上を図るべく衛星管理・品質管理体制の実践・強化を図っている。歯舞地区では生産される水産物流通の増大及び鮮度保持対策による付加価値向上及びブランド化等に取り組んでいる。

##### ⑦ 水産基盤整備に関する課題

- ・圏域内の中核的生産を担う漁港については、将来にわたる水産物の安定出荷により生産基盤の強化を図るための安全な漁労作業や水産物の安定供給を確保するための外郭施設・係留施設等の整備を行う必要がある。
- ・泊地等の埋塞対策や老朽化が顕著となっている漁港施設の機能保全を図ることによって、効率的な漁業生産活動の促進及び水産物の安定供給を図る必要がある。
- ・歯舞漁港（歯舞地区）については漁村を有しており、災害発生時の減災対策として漁港施設の防災対策整備を行う必要がある。

##### ⑧ 将来的な漁港機能の集約化

- ・現状、圏域内の漁港施設に係る統合・廃止・集約化等、機能再編に係る計画は無いが、ニーズに対応した漁港機能の見直しについて随時検討していく。

(2) 圏域設定の考え方		
① 圏域タイプ	流通拠点型	<p>設定理由；</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水産物を集約する産地市場を有する流通拠点漁港でセリを行い、消費地や加工場へ出荷している。</li> </ul>
② 圏域範囲	根室市	<p>設定理由；</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・流通拠点漁港への水産物の集約が及ぶ範囲を基準として設定している。</li> <li>・歯舞漁港（歯舞地区）内には歯舞漁業協同組合が所在している。</li> <li>・根室港湾内には根室漁業協同組合が所在している。</li> <li>・幌茂尻漁港（温根沼地区）の近隣には根室湾中部漁業協同組合が所在している。</li> </ul>
③ 流通拠点漁港	歯舞漁港 （歯舞地区、瑤瑤瑠地区、温根元地区）	<p>設定理由；</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・産地市場を有し、圏域内の水産物が集約されている。</li> <li>・屋根付き岸壁を有しているほか、人工地盤の整備がされており、高度衛生管理対策及び防災・減災対策を実施している。</li> </ul> <p>▶歯舞漁港</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用漁船隻数：555 隻 (R1)</li> <li>・属地陸揚量：9,550.4 t (R1)</li> <li>・属地陸揚金額：48.09 億円 (R1)</li> </ul> <p>▶歯舞漁港（歯舞地区）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用漁船隻数：221 隻 (R1)</li> <li>・属地陸揚量：6,818.9 t (R1)</li> <li>・属地陸揚金額：31.44 億円 (R1)</li> </ul> <p>▶歯舞漁港（瑤瑤瑠地区）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用漁船隻数：160 隻 (R1)</li> <li>・属地陸揚量：966.4 t (R1)</li> <li>・属地陸揚金額：9.35 億円 (R1)</li> </ul> <p>▶歯舞漁港（温根元地区）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用漁船隻数：174 隻 (R1)</li> <li>・属地陸揚量：2,165.1 t (R1)</li> <li>・属地陸揚金額：7.30 億円 (R1)</li> </ul>
④ 生産拠点漁港	友知漁港 沖根婦漁港	<p>設定理由；</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地先に優れたコンブ漁場、刺網漁業の漁場を有し、カレイ、タコ等多種多様な漁業生産地として中核的な役割を担い、漁船漁業の生産拠点を形成する漁港である。</li> </ul> <p>▶友知漁港</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用漁船隻数：76 隻 (R1)</li> <li>・属地陸揚量：1,227.7 t (R1)</li> <li>・属地陸揚金額：5.29 億円 (R1)</li> </ul> <p>▶沖根婦漁港</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用漁船隻数：38 隻 (R1)</li> <li>・属地陸揚量：214.7 t (R1)</li> </ul>

		・ 属陸揚金額：2.26 億円 (R1)
	トーサムポロ漁港	設定理由； ・ 地先に優れたサケ定置網漁業の漁場を有し、生産地として中核的な役割を担い、漁船漁業の生産拠点を形成する漁港である。 ・ 利用漁船隻数：43 隻 (R1) ・ 属陸揚量：1,415.4 t (R1) ・ 属陸揚金額：2.96 億円 (R1)
	幌茂尻漁港 (幌茂尻地区、温根沼地区)	設定理由； ・ 地先に優れたサケ定置網漁業の漁場を有し、生産地として中核的な役割を担い、漁船漁業の生産拠点を形成する漁港である。 ▶ 幌茂尻漁港 ・ 利用漁船隻数：231 隻 (R1) ・ 属陸揚量：2,185.4 t (R1) ・ 属陸揚金額：6.22 億円 (R1) ▶ 幌茂尻漁港 (幌茂尻地区) ・ 利用漁船隻数：64 隻 (R1) ・ 属陸揚量：907.4 t (R1) ・ 属陸揚金額：2.43 億円 (R1) ▶ 幌茂尻漁港 (温根沼地区) ・ 利用漁船隻数：167 隻 (R1) ・ 属陸揚量：1,278.0 t (R1) ・ 属陸揚金額：3.79 億円 (R1)
⑤ 輸出拠点漁港	歯舞漁港 (歯舞地区、瑤瑤瑠地区、温根元地区)	設定理由； ・ 産地市場を有し、圏域内の水産物が集約されており、高度衛生管理対策が実施されている。

(令和元年)

圏域の属陸揚量(トン)	21,811
圏域の総漁港数	5
圏域で水産物の水揚実績がある港湾数	1

圏域の登録漁船隻数(隻)	699
圏域内での輸出取扱量(トン)	不明

当該圏域を含む養殖生産拠点地域名	-
当該圏域を含む養殖生産拠点地域における主要対象魚種	-
当該圏域を含む養殖生産拠点地域における魚種別生産量(収穫量)(トン)	-
当該圏域を含む養殖生産拠点地域における魚種別海面養殖業産出額(百万円)	-

## 2. 圏域における水産基盤整備の基本方針

### (1) 産地の生産力強化と輸出促進による水産業の成長産業化

#### ① 拠点漁港等の生産・流通機能の強化

##### ・生産・流通機能の強化

当圏域内の漁港は、漂砂堆積による航路や泊地の埋塞が著しく、近年大型化している漁船に対応した水深を確保できない等、航行や係留に支障を来しているため、埋塞対策、泊地・岸壁当等の改良を講じる必要がある。

また、産地市場を有する歯舞漁港では ICT を導入し、流通機能の強化を講じる必要がある。

屋根付き岸壁が整備されたことで、安全で信頼性の高い水産物の国内外への供給が可能となった。今後は、総合的な衛生管理体制を確立させるため、関係者の衛生管理意識の向上や施設の効果的運用を図るためソフト施策を講じて行く。

##### ・輸出促進への対応

圏域内の漁港施設等について、輸出先国の衛生管理基準等ニーズに対応した輸出を促進するため、地域での衛生管理を徹底し、衛生管理された高品質な水産物の流通増大及び鮮度保持対策を進める必要があり、更なる衛生管理基準のレベル向上に努めていく。

#### ② 養殖生産拠点の形成

種苗放流体制など栽培漁業・養殖漁業の強化及び水産資源の維持増大の取組の中で、養殖についてはタラバガニの養殖技術の確立、ベニザケの海中飼育予備試験に継続して取り組む。

### (2) 海洋環境の変化や災害リスクへの対応力強化による持続可能な漁業生産の確保

#### ① 環境変化に適応した漁場生産力の強化

当圏域の海域は、多様な生物（タラ類・コンブ）が生息し、これらを対象とした漁業も営まれている。令和3年秋に発生した赤潮により多大が被害を受けていることから、沿岸資源の動向に注視し、海水モニタリング等の環境調査を含め、継続的な環境モニタリング調査により状況把握と早期資源回復に向けた取組を推進し、漁場環境を把握する必要がある。

また、沖合にはミズダコのための産卵環境の生息の場づくりを行い、水産物の生活史に配慮した広域的な水産環境の整備を行い、環境変化に対応した漁業生産力の強化を講じる必要がある。

#### ② 災害リスクへの対応力強化

##### ・漁業地域の安全・安心の確保

自然災害に対応した防災機能対策及び漁港利用者の安全確保のため、外郭施設の耐津波化、岸壁の耐震化を推進することで、漁業活動の継続又は早期再開を図り、圏域における持続的な水産物の安定供給体制を推進する必要がある。

また、操業中の小型漁船（船外機船）への防災情報伝達システムの構築等により、災害に強い漁業地域づくりを推進する。

##### ・被災後の地域水産業の早期再開

当圏域の流通拠点漁港である歯舞漁港では、平成31年2月に歯舞漁港BCPを策定しており、自然災害後の漁業活動の早期再開を推進する。

##### ・持続可能なインフラ管理の推進

大規模地震や津波、近年巨大化する台風や低気圧等の自然災害に対し、漁業地域の安全確保を図る必要があるため、新技術の導入も検討し、機能保全計画を見直し、施設診断を迅速かつ高率的に行い、予防保全を含めた持続可能なインフラ対策を講じる必要がある。

### (3) 「海業」振興と多様な担い手の活躍による漁村の魅力と所得の向上

#### ① 「海業」による漁村の活性化

歯舞漁港を発信地として、直売所での水産物販売、漁港内でのイベント開催など魚食普及活動を通じて、地元水産物のPRを行うほか、効率的な生産・販売体制を確立するため、海業支援施設を整備し、パノラマクルーズや渚泊等の地域マリビジョンの取組と連携しながら、都市漁村交流を更に推進する。

②地域の水産業を支える多様な人材の活躍

当地区では、冬期も操業を行っており、北海道東部沿岸の厳しい風浪・風雪の中で陸揚げ作業に伴い、身体的苦痛を強いられている。屋根付き岸壁、人工地盤を整備し、女性など多様な担い手が安心して漁業に参画できるよう、就労環境の改善を図る。

3. 目標達成のための具体的な施策

(1) 産地の生産力強化と輸出促進による水産業の成長産業化

①拠点漁港等の生産・流通機能の強化

地区名	主要対策	事業名	漁港・港湾名	種別	流通拠点
歯舞地区	衛生管理	直轄特定	歯舞漁港	第4種	○
歯舞地区	衛生管理	浜の活力再生	歯舞漁港	第4種	○

・衛生管理

岸壁への屋根整備により鮮度保持された品質の高い水産物の安定供給を図り、生産・流通機能を強化し及び輸出促進を図る。

②養殖生産拠点の形成

地区名	主要対策	事業名	漁港・漁場名	種別	流通拠点
—					

(2) 海洋環境の変化や災害リスクへの対応力強化による持続可能な漁業生産の確保

①環境変化に適応した漁場生産力の強化

地区名	主要対策	事業名
北海道太平洋東部	環境変化、資源管理	水産環境
歯舞	資源管理	北振事業
歯舞	藻場・干潟	水産業競争力強化

・環境変化、資源管理

沖合にはミズダコのための産卵環境の生息の場づくりを行い、水産生物の生活史に配慮した広域的な水産環境の整備を行い、環境変化に対応した漁業生産力の強化を図る。

また、継続的な環境モニタリング調査により漁場環境を把握し、安定した漁業生産を確保する。

②災害リスクへの対応力強化

地区名	主要対策	事業名	漁港名	種別	流通拠点
釧路管内地区	防災	直轄特定	歯舞漁港	第4種	○
歯舞地区	防災	水産業強化	歯舞漁港	第4種	○
根室	予防保全	機能保全	友知漁港	第1種	
根室	予防保全	機能保全	沖根婦漁港	第2種	
根室	予防保全	機能保全	幌茂尻漁港	第1種	

・予防保全

一部外郭施設及び主要な陸揚げ岸壁の耐震化整備を図り、災害発生後においても船舶や漁港利用者の安全確保や水産物の流通機能を確保する。

漁港施設の機能診断を行い、予防保全を含めた持続可能なインフラ対策を講じ、漁業地域の安全確保を図る。なお、機能診断の際には新技術も活用し、消波ブロックや海中の矢板など、広範囲に設置されている構造物の老朽化・破損状況の迅速な把握を行う。

(3) 「海業」振興と多様な担い手の活躍による漁村の魅力と所得の向上

① 「海業」による漁村の活性化

歯舞漁港を発信地として、直売所での水産物販売、漁港内でのイベント開催など魚食普及活動を通じて、地元水産物のPRを行うほか、効率的な生産・販売体制を確立するため、海業支援施設を整備し、パノラマクルーズや渚泊等の地域マリンビジョンの取組と連携しながら、都市漁村交流を更に推進する。

また、漁港機能の集約、分担の可能性の模索や漁港の「海業」への活用等、既存ストックの有効活用について、関係者と検討する。

地区名	主要対策	事業名	漁港名	種別	流通拠点
歯舞地区	地域活性化	浜の活力再生	歯舞漁港	第4種	○

②地域の水産業を支える多様な人材の活躍

地区名	主要対策	事業名	漁港名	種別	流通拠点
歯舞地区	就労環境	直轄特定	歯舞漁港	第4種	○

・就労環境

岸壁への屋根整備など、漁港施設の就労環境を改善し、安全で働きやすい環境と快適な生活環境を整え、担い手確保にあたる。

4. 環境への配慮事項

●環境への負荷を軽減するための取組

- ・漁港内での航行に必須である一部標識灯は小型太陽パネルにより電力供給を行っている。
- ・漁業者が漁船建造や機関換装をする際には、「競争力強化機器導入事業」や「漁船リース事業」を活用し、導入・燃油など漁業経費の削減を図っている。

5. 水産物流通圏域図

別紙のとおり

